

【カーソルを使用した複数レコード処理】 カーソル FOR ループ文

手順 1.

カーソルの定義

```
DECLARE
    CURSOR カーソルの名前 IS SELECT 文 ;
```

手順 2.

カーソル FOR ループ文の実行

```
BEGIN
    FOR レコード型変数名 IN カーソルの名前 LOOP
        /* SELECT レコードに対する処理 */

    END LOOP ;
END ;
```

- 【注意】**・レコード型変数名は、DECLARE 節内等での変数定義は、不要
- ・PL/SQL プロシージャが、SELECT 文に合わせて自動的に定義を行ってくれる
 - ・カーソルのオープンは、(SELECT 文) の実行は、最初の FOR 文に実行制御が来た時に行われる
 - ・FOR ループ文を抜けた後では、レコード型変数名やカーソルの名前に対する属性%NOTFOUND は、利用できなくなる(変数のスコープ範囲外のため) EXCEPTION 句の中でも同様である
使用したい場合には、単純 FETCH 文処理に変更するしかない
 - ・カーソルのレコードが終わりまで進んだら、FOR ループ文を自動で抜ける

(使用例)

```
DECLARE
    CURSOR cursor_tableA IS SELECT ename FROM user_table ;

BEGIN
    FOR record_tableA IN cursor_tableA LOOP
        /* SELECT レコードに対する処理 */
        DBMS_OUTPUT.PUT_LINE('ユーザー名: '
                               || record_tableA.ename ) ;
    END LOOP ;
END ;
```